

作品 No.244



生きものの“つぶやき”:

「定時なので、失礼します!!」

エッセイ:

どこまでも、どこまでも続く有明海の夕方、潮が満ちるのにあわせて干潟が少しずつ慌ただしくなっています。干潟に出ていた生き物がみんな自分の家に帰ってきました。それを見て僕は考えました。潮が引けば干潟でせっせと働いて、潮が満ちれば帰っていく。そんな生活僕もしたい!!お日様が出たら働いて、お日様が沈んだら家に帰る。だけど…だけどできない!!部活がある。勉強がある。一度でいいから言ってみたい。巣に帰るカニ、トリ、そしてこのトビハゼのように「定時なので、失礼します。」と。(231字)

生きものの紹介:

トビハゼ (スズキ目ハゼ科トビハゼ属) 汽水域の泥干潟に生息する。春から秋にかけて活発に活動している。

撮影場所・日時:

佐賀県小城市芦刈町永田 (有明海) ・ 2019年7月28日

応募者の自己紹介:

1. 重松 慶太郎 (シゲマツ ケイタロウ) /福岡工業大学附属城東高等学校 2年
2. 科学部
3. 将来の夢:海上自衛官

審査員よりひとこと

写真とユーモラスなつぶやきの組み合わせが素晴らしい。エッセイもユニークです。